

# 日本画家・三瀬夏之介 × 映像作家・宮永亮

石舞台古墳石室内壁面毎をパネルとし三瀬夏之介氏の作品イメージを投影。  
明日香村の風景を組み込み動的な動きを持たせることで神秘的な映像ショーを展開します。

奈良県立万葉文化館で開催される展覧会「三瀬夏之介 風土の記-かぜつちのき-」に合わせ、日本画家・三瀬夏之介と映像作家・宮永亮とのコラボレーション・ワークを発表します。不動の絵画イメージに、宮永が明日香村内で撮影した実写動画のイメージをミックスし、石舞台の石室内という不定形のキャンパスの中にプロジェクションされます。絵画の展覧会として同村に持ち込まれた三瀬の作品イメージが媒介となり、遠い過去を内包した石舞台と、現在の明日香村が、動的に、ダイナミックに繋げられてゆく様、それが巨石の重なる壁面に投写されてゆく様。それは私たちに歴史の成り立ちや時間の【つらなり】について、様々な事を投げ返し、未来へと思いを馳せる機会を与えてくれるでしょう。



【会場】石舞台古墳(石室内)

【会期】2014年3月11日(火)~3月22日(土) 13:00-16:45 ※投影時間5分、間に10分間の間隔を空けての上映となります。



【作品提供】  
**三瀬夏之介**

1973年奈良県生まれ、山形市在住。京都市立芸術大学日本画専攻を卒業後、同大学院美術研究科絵画専攻を修了。2007年から2008年にかけて五島記念文化財団研修員としてフィレンツェへ研修、2009年にVOCA賞、2012年に第5回東山魁夷記念日経日本画大賞展で選考委員特別賞を受賞、2014年には第32回京都府文化賞奨励賞を受賞し、現在は東北芸術工科大学准教授として後進の指導にあたる。

三瀬夏之介 風土の記-かぜつちのき-  
2014年3月9日(日)~5月11日(日)  
会場:奈良県立万葉文化館 1階日本画展示室  
入館料 一般600円、大学・高校生500円、小・中学生300円



【映像作品】  
制作者 **宮永 亮**

1985年北海道生まれ、京都市在住。京都市立芸術大学大学院修了。平成23年京都市芸術文化特別奨励者。ビデオカメラでとらえられた実写映像素材のレイヤーを、幾重にも塗りスーパーインポーズする手法を用いて作品制作を行っている。それはモニターのように素材の順時的羅列によるストーリーの提示ではない。時間軸というベクトルに対し、レイヤー構造というベクトルを、一定の強度を持たせてビデオアートに持ち込むことで、新たに合成されるナラティブの枝を、作品時間内でマルチに現出させようとすることであり、そして時間芸術の中での非時間性への模索でもある。主に現代美術の領域で、ビデオ作品、ビデオインスタレーション等の発表を行っている。

奈良県立万葉文化館

「飛鳥アートヴィレッジ」関連イベント

トークショー

「三瀬夏之介と若き表現者たち  
-日本の起源で美を拓く-」

3月11日(火) 13:30~

万葉文化館展望ロビー 先着150人参加無料

「飛鳥アートヴィレッジ」参加アーティストの作品展示

3月11日(火)~22日(土) 万葉文化館企画展示室 観覧無料

※詳しくは、明日香村HPでご確認ください。

<http://www.asukamura.jp/>

イベント

アーティストトーク

三瀬夏之介氏によるアーティストトーク

3月9日(日) 14:00~

ギャラリートーク 当館学芸員によるギャラリートーク

3月30日(日) 14:00~ ※イベント参加には、観覧料が必要です。



イベント企画・制作・運営 / 映像制作~放映まですべてをグループ内で完結し、お客様にワンストップソリューションでご提供する事が出来るプロ集団  
<http://www.ray.co.jp/>